

建築職 / 都市整備部 建築住宅課

平成28年度
入庁

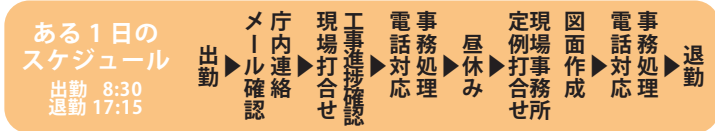


担当している業務の内容

施設営繕係に所属し、市の公共建築物の新築や修繕といった営繕工事に係る設計・監督をしています。また、役目を終えた公共建築物や市街地整備に伴う老朽家屋の解体に関する計画や設計も大事な職務です。業務にあたっては、施設を管理する担当課から営繕工事の依頼を受け、建築物の構造や仕様についての様々な要望や相談内容とコストなどを考慮して、現場や施工条件を精査し、設計を行っています。また、建築会社や施工業者に工事を発注した後は、進捗状況に合わせて、詳細な協議や段階ごとの確認をしながら監督業務を行っています。

仕事のやりがい

市の公共建築物の営繕業務は、市民の方々が安全で快適に利用でき、また、喜んで使ってもらえるものづくりに携われることが一番のやりがいです。ものづくりの過程においては、使う人の声を聞き、技術的な判断や計画を行い、具体的で適切にデザイナーや施工者に伝達することが重要です。その過程においては、対話やコミュニケーションが大切であり、自分自身の仕事のやりがいに繋



がっています。前職は、住宅建築の施工管理に従事しており、お客様、会社の上司や同僚、施工業者に育てていただいた経験はありますが、より大規模な公共建築物については日々勉強中であります。建築の施工方法や仕様は、同じ目的の建築物でも、設計者や現場管理者の経験やノウハウによってさまざまです。監督員の仕事に就いて良かったと感じることは、上司や先輩から知識を学べるとともに、民間の設計者、建築業者、施工業者の多種多様なノウハウや知識を学ぶことで、自らの技術の成長、幅広い知識と感覚が養えるところです。

職場の雰囲気

同時に多数の新築・修繕工事を担当しますが、個別の課題や情報共有に関しては、皆でじっくりと検証や意見交換、提案を日常的に行っており、風通しの良い活気のある技術集団です。

メッセージ

学生の方も、民間企業経験者の方も、市役所と民間の仕事内容の違いに戸惑いを感じる方もいらっしゃるかもしれません。しかし、人それぞれ人生経験や持ち味があります。人の声や意見を素直にとらえることにより、一步一步でも、自分の持ち味を職務に生かしていけるとと思います。市民の方々に喜んでいただける施設を建築する仕事がやりたい人、ものづくりが好きな人、ぜひ、建築職の仕事に興味を持っていただき、共に働ける日を楽しみにしています。

保健師 / 福祉保健部 保健センター

平成28年度
入庁

担当している業務の内容

保健センターでは、赤ちゃんからお年寄りまで、その人らしく健康に地域で生活を送るための支援を行っています。私は、成人の健康づくりを担当する健康増進係に所属しており、主にこころの健康づくりや肝炎ウイルス検診、ヘルスポランティア養成講座などを担当しています。また、健康づくりのための健康教室や家庭訪問を実施するほか、乳幼児健診で成長・発達に関する確認や相談などを行っています。

仕事のやりがい

保健師は人と接する機会の多い仕事です。相談者の方からお話を伺い、それぞれの思いや生活に合わせた適切な支援を考えることに対して、難しさを感じることもあります。そのような中で、相談者の方から「聞いてもらえてよかった。」「生活習慣を変えるきっかけになった、ありがとう。」などと言ってくれただけで、やりがいや喜びを感じます。また、保健師として働く中で、市民の方と関わる以外にも、統計データの分析・活用や、他機関との連携なども、健康づくりを支援する上では大切であることが分かりました。

職場の雰囲気

職場の雰囲気はとてよく、相談しやすい環境です。担当している業務や支援の内容などで悩んだ際には上司や先輩に相談しています。知識や経験の豊富な上司や先輩に囲まれ、日々刺激を受けて、自分自身も成長できる職場だと感じます。

メッセージ

保健師は市民の皆様の健康を支える大切な仕事です。様々な年齢の方と関わる機会があり、幅広く、専門的な知識が必要ですが、その分、やりがいも多いです。射水市で皆さんと一緒に仕事ができることを楽しみにしています。地域の健康づくりのために、一緒に頑張りましょう。

